

議会だより



「そぞろ歩きは煙火あと」 撮影者：田中雄一

5月 臨時会 6月 定例会

ホームページ https://www.town.yoro.gifu.jp/



議会QRコード

5月臨時会 2
6月定例会・本会議報告 3
委員会報告 4
こんなことが決まりました 5
町の考えを問う(7議員が一般質問) 6
農業委員会との意見交換会報告 12
あれから「ゴミ収集」と「改良住宅譲渡」はどうなったんやあ〜 13
議会に対する意見(シリーズ住民の声) 13
議会ニュース 14

議会ニュース

養老町みんなで『孝子』条例 表彰

第2回定例会(初日)において、平成29年に制定された「養老町みんなで『孝子』条例」の2人目の表彰者として、養老町室原在住の富長覚梁氏が選ばれました。

富長氏は平成20年に開始した「家族の絆」をテーマとした愛の詩の全国募集に、その当初から選考委員として関わり、22年にわたりこの事業を牽引してこられました。その間に寄せられた詩の応募総数は43,252編に上ります。

「親孝行のふるさと」としての養老町を全国に広く発信し町民が郷土に誇りを持つことに寄与された功績をたたえ特別賞を贈ります。



平成30年度 愛の詩発表会にて

一年間お疲れ様でした

第2回定例会(初日)において、吉田太郎前議長のその功績に対し、議会より感謝状が贈呈されました。



9月3日に定例会を開会の予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

詳しい日程については、「広報よろう」9月号と町ホームページでお知らせします。また、議会の様子をライブ配信及び録画配信しております。町ホームページより観ることが出来ますので、そちらもぜひチェックしてみてください。一般質問の日は車いすの方も議会を傍聴していただけます。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。



議会QRコード

養老町議会 委員会構成名簿 (令和3年5月14日現在)

Table with 4 columns: 委員会名, 委員長, 副委員長, 委員. Lists members for various committees including General Affairs, Industry, and Council Operations.

議会だより編集特別委員会

- 委員長 岩永 義仁
副委員長 清水 由美子
委員 水谷 久美子
委員 田中 敏弘
委員 早崎 百合子
委員 小寺 光信

編集後記

今号より、新メンバーで議会だよりを編集します。「いつも通り」の議会だよりに加えて、新しい試みにもどんどんチャレンジしていきたいと考えています。町民の皆様が読みたくなるような議会広報誌を目指し、議会の情報をよりわかりやすい視点でお伝えできるよう努めて参ります。今後の編集に活かしたいと思いますので、お気づきの点があればご意見をお寄せください。 委員長

「わたしの声」を待っています。役場ロビーに意見箱を設置してあります

「わたしの声」の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内 TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812 メールアドレス:14gikai@town.yoro.gifu.jp



5月臨時会

令和3年第2回臨時会が5月14日に開かれた。

1件の債権放棄の報告を受け、3件の専決処分承認について、全て承認した。条例改正等5件の議案について提案説明を受け審議し、全て原案の通り可決した。また固定資産評価員の選任についての人事案件に同意した。議会休憩中に吉田前議長の辞職届を受領し、北倉前副議長が議長となり、副議長に長澤議員が就任した。その後、各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の選任と正副委員長の選任をおこなった。

臨時会の主な(総括)質疑内容

●専決処分の承認について(令和2年度一般会計補正予算)

問 非常備消防費の退職団員報奨金(財源構成)1400万円程の対象人数は。またその財源である基金の積み立て方法は。

答 令和2年度退職消防団員の総数は142人である。町が団員1人あたり負担金1万9200円を公務災害補償等共済基金へ支払っている。なお、財源は国の特別交付税である。

●養老町附属機関の書面による審議に係る関係条例の整備に関する条例の制定

問 養老町水防協議会等16の附属機関が全て書類審議を行った場合の影響額は。

答 予算ベースで報酬137万2800円を計上している。

め、日額2分の1の規定を適用すると、68万6400円となる。また、旅費16万8000円も発生しなくなるため、影響額は合わせて85万4400円となる。

●養老町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正

問 自動運行補助施設が地方に広がる時期は。

答 国は2030年末までに地域限定型の無人自動運転移動サービスの典型的展開地域を100か所以上とする目標を掲げており、都市部から広がると考えている。なお、現在当町では活用計画は無いが、国の動向を注視したい。

●養老町庁舎機械設備改修工事請負契約の締結

問 契約金額2億6400万円の明細は。

答 設計金額に請負率を掛けて算出すると、機械棟の解体工事が約2800万円、機械棟新築工事が約1億200万円、県防災用発電施設の移設工事が約100万円、空調機械の設置工事が約1億3300万円となる。

●令和3年度一般会計補正予算

問 地方創生テレワーク推進事業の内容は。

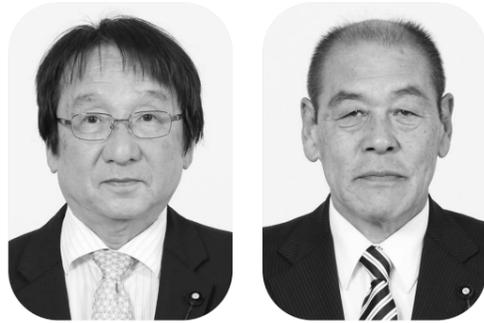
答 地域福祉センターをサテライトオフィスにリノベーションする。財源は、地方創生テレワーク推進交付金が7350万円、別途特別臨時交付金があり、残り是一般財源から支出する。なお、運営は外部委託を検討している。

問 プレミアム付き商品券の内容は。

答 昨年度より500万円増の1億5000万円分であり、プレミアム率は昨年同様25%を予定している。



新議長あいさつ



議長 北倉 義博

副議長 長澤 龍夫

令和3年度の養老町議会議長に就任させていただきました。改めて身の引き締まる思いの中、副議長と共に誠心誠意職務の遂行に努める所存です。予想以上に長引くコロナ禍の中、皆様方には度重なる自粛にご協力を賜り感謝申し上げます。養老町にも人口減少問題をはじめとして様々な課題があります。それぞれの課題に対して民意の総意をしっかりと把握することに努め議会の総意とのずれが無いように、また、行政機関との意思疎通をしっかりと図りながら力を合わせて、安心・安全で、子ども世代・孫の世代まで持続可能な町づくりに取り組んで参ります。皆様方の温かいご指導とご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

6月定例会

令和3年第2回定例会が6月4日から18日までの15日間の会期で開かれた。

初日(4日)は、令和2年度養老町一般会計予算繰越明許費繰越計算書等3件の報告を受け、11議案の提案説明があった。補正予算2議案及び繰入れ変更については、予算特別委員会委員の選任と正副委員長の選任を行い、付託した。条例の一部改正等8議案については総務民生委員会に付託した。

2日目(17日)は、議員7名が一般質問を行った。

最終日(18日)は、総務民生委員長及び予算特別委員長より、付託された議案についての審査の経緯と結果の報告後、採決を行い、条例の一部改正や令和3年度一般会計補正予算など11議案について、すべて原案のとおり可決された。また、最終日に上程された議員発議である議員派遣についても可決した。

定例会の主な(総括)質疑内容

●印鑑条例の一部改正

問 マイナンバーカードを利用して印鑑登録証明書等取得できる、町内の対象店舗は。

答 町内のコンビニエンスストアが10店舗あり、また、その他に大手スーパー等の多機能端末機が設置されている店舗が利用可能となる。なお、郵便局については今後検討したい。

●令和3年度養老町一般会計補正予算

問 商工関連事業を計上するにあたっての戦略的思想は。

答 コロナ禍やアフターコロナを見据えた形で、関係人口等を増やしていけるような事業を計上した。

問 町独自でPCR検査を実施する考えは。

答 郡医師会に意見を伺いながら、まずはワクチン接種に全力を挙げていきたい。

問 地方創生臨時交付金の繰越額は。

答 第3次交付限度額の繰越限度額1億4505万7000円のうち、1億4381万4000円を内閣府へ繰越要望しており、本定例会では地方創生臨時交付金として1億4196万3000円を計上し、差額185万1000円についても今後計上したい。

総務民生委員会へ付託された議案

●養老町印鑑条例の一部改正

問 コンビニ交付サービスについて、町がコンビニに支払う単価とマイナンバーカード利用の見込み件数は。

答 コンビニ業者への委託手数料は1通当たり17円。また、マイナンバーカード利用の見込み件数は3000件程である。

●養老町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

問 個人に生じる影響は。

答 国の法律が改正され、転職時に、本人の同意を得れば使用者間で従業員の特定個人情報のやり取りを行うことが出来るようになる。

なお、本改正の内容は、法律を引用する号ずれを改正するもの。

●養老町手数料条例の一部改正

問 個人番号カードの再交付手数料の取り扱いは。

答 今後は個人番号カードを発行している国の機関で手数料を定める予定であり、国から町へ徴収を委託することになっている。



●令和3年度一般会計補正予算

問 空間除菌事業の内容は。

答 空間除菌剤を購入するもので、健康福祉課としては、福祉センターと養老福祉作業所、そよかせ教室、保健センターの計4施設に設置する。

問 食肉基幹市場建設促進事業費の内容は。

答 環境影響調査業務委託料1122万円、用地取得計画書作成業務340万円を計上した。現在、有力候補地として絞り込みを行っており、最終候補地としての地元説明、事業認定に向け進めている。

問 地域消費活性化デジタル化事業917万円の内訳は。

答 アプリ開発費330万円、システム管理費154万円、コールセンター等設置費154万円、普及活動費250万円、チラシ等作成費用29万円として計上している。なお、事前に商工会と協議し、取り組み内容を相談している。

問 Back to the YOROキャンペーン事業のチラシの作成枚数は。

答 昨年と同様に、リーフレット3万枚、ポスター300枚を予定している。なお、実施時期については、秋以降に行いたい。

問 アフターコロナに向け、本町にゆかりのある方、本町に住まいであった方、本町に籍のあった方が本町へ帰省するときの公共交通料の一部を地域商品券で配布するもの。

答 日吉小学校の滑り棒、滑り台、チーンクライムの老朽化による撤去のための費用で、今後は各学校の使用禁止になっている遊具の撤去を優先し、新設や修繕は年次計画に沿って進める。

問 安全衛生管理推進事業474万円のマスクの中身は。

答 火災等侵入する際に消防隊員が使用する空気呼吸器用マスクである。現在、隊員が共有して使用しているが不衛生であるため、今後は空気呼吸器用マスクを個人に貸与し、個人で管理する。

問 小学校校舎等施設整備事業139万円の内容及び今後の整備計画は。

答 火災等侵入する際に消防隊員が使用する空気呼吸器用マスクである。現在、隊員が共有して使用しているが不衛生であるため、今後は空気呼吸器用マスクを個人に貸与し、個人で管理する。

反対討論

国の第3次地方創生臨時交付金について、今回提案された(仮称)養老ペイは、6月議会に提案し、秋に実施というスケジュールはあまりにも性急すぎる。

賛成討論

商工会や事業者にとっても、コロナ禍の今、大変厳しい状況である。(仮称)養老ペイは、広範囲にわたり難しい面はあるが、出来るだけ早く進められることが今一番望まれている。

予算特別委員会へ付託された議案

令和3年5月臨時会

こんなことが決まりました

臨時会

議案	結果
養老町附属機関の書面による審議に係る関係条例の整備に関する条例制定	全員賛成で可決
養老町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
予算	
令和3年度養老町一般会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
令和3年度養老町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
その他	
債権放棄の報告	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町税条例等の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町介護保険条例の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(令和2年度養老町一般会計補正予算(第8号))	全員賛成で承認
養老町庁舎機械設備改修工事請負契約の締結	全員賛成で可決
人事同意	結果
固定資産評価員の選任同意 問山 剛	全員賛成で同意

令和3年6月定例会

こんなことが決まりました

定例会

議案	結果
養老町印鑑条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町個人情報保護条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町手数料条例一部改正	全員賛成で可決
養老町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町地域福祉センター設置及び管理に関する条例の廃止	全員賛成で可決
令和3年度補正予算	
養老町一般会計補正予算(第2号)	賛成多数で可決
養老町立食肉事業センター特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
令和3年度繰入れ変更	
養老町立食肉事業センター特別会計 一般会計から340万円繰入れ	全員賛成で可決
その他	
令和2年度養老町一般会計予算繰越明許費繰越計算書	全員賛成で可決
令和2年度養老町一般会計予算事故繰越し繰越計算書	全員賛成で可決
令和2年度養老町公共下水道事業会計予算繰越計算書	全員賛成で可決
西南濃粗大廃棄物処理組合規約の変更に関する協議	全員賛成で可決
議員派遣 全国市町村国際文化研修所「市町村議会議員研修」 小寺光信、西脇 康	全員賛成で可決

議員名	令和3年度養老町一般会計補正予算(第2号) 議員の賛否												
	西脇 康	清水由美子	小寺光信	北倉義博	岩永義仁	長澤龍夫	大橋三男	吉田太郎	早崎百合子	野村永一	田中敏弘	松永民夫	水谷久美子
(○賛成、×反対)	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×



◆岩永 義仁 議員

オンライン肉まつりは

町長 通販サイトへのアクセス増

これまで養老公園にて開催してきた「肉まつり」だが、コロナ禍のためインターネット上で開催されることとなった。

問 事業予算は2200万円です。IT活用によるイベントにも係わらず、通常開催の肉まつりよりも多額となった。インターネット上での販売数は全店舗合計で250個、100万円ほどの売り上げとなった。事業評価は。

答 食肉の消費拡大とコロナ後の来町者を増やすことがこの事業の目的であり、大変効果があった。

問 タレント側に800万円が支払われた。何かと「お金がない」と言っている養老町の支出としては高すぎないか。

答 動画配信による町のPRの対価として妥当。



オンライン肉まつりチラシ

問 事業者への取材から、イベントを受注した関係者による購入があったとのこと。先着46名の送料を町が負担するという本事業において、関係者による購入は問題ではないか。

答 町は購入履歴等の個人情報収集をしていない。関係者による購入は把握していないが、食肉のPRとしての購入ならばイベントによる効果と考える。

住民に親しまれた町民プールは6月末での一時休館が決まっている。施設の今後の活用方法について模索が続いている。

問 町民プールの存続を要望する署名嘆願活動が行われ、1500名を超える署名が集まったと聞いている。これだけ大きな民意に対して町はどう応えていくのか。

答 町営のプールとして再開することは困難と考える。一部の事業については他施設で開催できるように進めていく。施設の今後としては企業や民間への貸し出し、売却等、幅広い視野で検討していく。

問 会議録の調査を行った。町民プールの今後を議論した審議会は、閉館の方針と決めていた町職員による「特命チーム」が主導的役割を果たした。例えば存続の提案をしていた町教育当局からの出席はなく、公平性に欠ける否を議論であった。



6月末で休館した町民プール

答 審議会では特命チームの判断、アンケート結果、パブリックコメントの結果をもとに慎重審議を行った。公正な判断だったと考える。

たとえる。最初から閉鎖ありきだったのではないか。

町民プールの今後は

町長 売却も視野に幅広く検討

学力低下対策に読書習慣を

教育長 保護者や家庭に一層の啓発



◆清水由美子 議員

タブレット学習が導入され、今後、文字離れ・学力低下も懸念される。学力向上と心豊かな生徒の育成に、日々の読書習慣を提言した。

問 タブレット端末使用の現状とデメリット対応は。

答 小学校では、毎日1〜2時間、中学校は週1〜3時間程度使用。調べ学習をはじめ多様な学びが可能になった。「ICT」と「非ICT」それぞれの良さを授業に組み合わせ、トラブルから子供を守る為「タブレット活用のルール」を全児童生徒に配布等で対応している。

問 紙での学習も大切だが見解は。

答 書くことは、非常に大切と認識している。「ICT」と「非ICT」とのバランスや使用時間を考慮した授業づくりに取り組む。

問 減少傾向にある読書時間の確保は。

答 乳幼児教育では、園や家庭において絵本の読み聞かせ等の読書指導を実施している。各学校では、読書習慣の啓発活動、家庭読書の積極的な取組など、読書指導・利用指導を行っている。ICT教育が進む中でも、園や学校と連携し、保護者や家庭に一層の啓発をし、読書生活の充実につなげていく。



仙台市「学習意欲の科学的研究フォーラム2017」より

小学校の今後は

教育長 慎重に取り組む

少子化が急速に進む中、「子供たちが安心して学び生活する環境」を考える。

問 少子化が進む中、小学校の統合は。

答 少子化が進む以上、学校の統廃合は検討していく必要があると認識している。子供たちや保護者、地域住民の思いを尊重し「地域とともにある学校」をめざし、存続するよう努める。

問 ワクチン接種の早期対応は。

答 国・県からの通知があり次第、関係機関と検討し、安心して接種できる体制。

問 インフルエンザ予防接種との併用は。

答 他の予防接種を行う場合、原則として13日以上間隔をおく。

問 タブレットの導入は。

答 タブレットの活用を習熟させ、生徒の活用能力を向上し学習内容や目的に応じてペンシル等の整備を進める。

問 教職員の優先接種は。

答 随時、優先的に、接種できるように予定。



導入されたタブレット端末



◆吉田 太郎 議員

キャッシュレス決済について

町長 普及に向け利用促進を行う

消費の活性化、マイナンバーカードの普及促進、キャッシュレス決済基盤の構築を目的とする「マイナポイント事業」が行われている。

問 商工事業者のキャッシュレス決済の推進は。

答 町内の半数程度の店舗が電子決済を導入されているが、少ない状況にある。消費者側も電子決済使用は限定的なところもある。今後商工事業においてIT化やDXの取り組みは必須である。まずはキャッシュレス化の普及利用促進事業を行う。

問 プレミアム商品券の電子商品券型発行は。

答 新しい生活様式として電子商品券の取り組みは大変有用であると考え。商工会とも協議を行い、出来る範囲で行っていきたい。



昨年のプレミアム商品券



◆小寺 光信 議員

コロナ禍・ワクチンは

町長 高齢者優先で全力で取り組む



中央公民館ワクチン接種会場

問 65才以上高齢者ワクチン接種案内は。

答 本年2月から、厚生労働省の指導によりワクチン接種確保体制を構築して進めた。接種券の発送については、ワクチンの入荷時期や供給量が4月中旬以降も不透明な状況が続き、接種の体制も流動的である中での発送で有った為、接種予約の前半は予約希望者が殺到し、一時的に混乱を招いてしまった。

問 高齢者ワクチン接種体制と状況は。

答 養老郡医師会、区長会、町行政が協働して取り組んだ。高齢者の優先接種で案内をしたがワクチンの入荷量が少なく予約混乱が生じたが接種は6月16日ではほぼ順調に進み7月下旬には程無く終了予定。

問 一般ワクチン接種案内は。

答 先の教訓を生かして年齢別で、ワクチン確保量と照らし予約混乱の無い様に進める。

有害鳥獣対策は

町長 駆除や柵の補助事業も継続

鳥獣による農作物の被害が増加し、区や地域単位に鳥獣防護柵の設置が進められてきた。

問 鳥獣防護柵の設置状況と今後の方針は。

答 柵の設置は平成24年から始まり、今年度実施で町内総延長13・113キロメートルとなり、5月に県へ実施計画の承認申請、9月より設置を始め12月に完了予定である。また、柵の補助事業も継続予定である。

問 野鳥や小動物による被害は。

答 駆除は猟友会に委託し、本年3月「養老鳥獣被害防止計画」を改定し、捕獲対照にアライグマとドバトを加えた。猟友会の活動の支援を継続していく。

問 サル檻の設置状況と今後の維持管理は。

答 昨年度、大型のサル檻を3基購入、沢田、桜井、一色に設置し、桜井地区で9頭のサルを捕獲した。檻の増設は管理等負担がかかるため、要望があれば協議していきたい。



大型のサル檻（桜井地内）

地方創生テレワークの推進は

町長 町施設の改修により進める

国のまち・ひと・しごと創生方針に沿って補助金を活用し、施設改修後に企業及び個人のテレワーク推進に繋げる。

問 テレワーク施設は。

答 国からの交付金を活用して地域福祉センターを改修する。公募型プロポーザルにより設計・施工並びに管理・運営方法の提案を含めた一括発注し、利便性の高い改修にする。

問 レワークを活用し、地方のサテライトオフィス等で、仕事を行う方々。

答 中部圏のみならず関西・関東等含めて広い範囲でPRして利用者確保に繋げる。

問 具体的内容は。



改修予定の地域福祉センター（若宮地内）

問 施設利用の対象は。

答 都市部の企業、個人の働き手がテ

ほかに「行政の内部統制について」の質問もしました。



◆水谷久美子 議員

教訓を生かし64歳以下接種を

町長 全町体制で円滑化に取り組む

高齢者接種予約では、予約が取れない不安がストレスとなり激怒や苦情の声が多々寄せられた。高齢者接種の問題点を総括すべきである。

問 過労死ライン月80時間以上の担当職員の実態と今後の職員体制は。

答 5月に2名いたが6月の異動で担当課に1名の増員をした。特定の職員に負担がないよう仕事配分を改めてい。

問 5月6日の予約開始日以降、予約日の早朝に議員や全町民に知らせない中、役場で何が行われていたのか。

答 早朝に役場玄関前に予約の取り方が分からない多数の方が来庁された。順次相談に乗り予約を取る手伝いをした。多くの町民の方が早朝から来庁されることを予想していなかった。

問 当初の町接種計画と国や県との調整過程は。

答 郡医師会や区長連絡協議会の全面協力で早い段階で接種計画が出来ていた。ワクチン配送日等については、直前まで回答がなく予約枠の設定に苦慮した。

問 濃厚接触を余儀なくされる保育・教育現場職員への優先的接種を。

答 保育士、教職員には優先接種が出来るよう対応していく予定。



ワクチン接種を受ける町民

小・中一貫校化の導入に反対

町長 未来ビジョンを描く模索を図る

2002年から15年間で小中・高も含め7583校が廃校した。そうした中、全国的に「小中一貫校化」や「義務教育学校」も開設されている。

問 小学校と中学校を接続するための施設一体型小中一貫校が導入されているが効果が実証されず減少傾向にある。

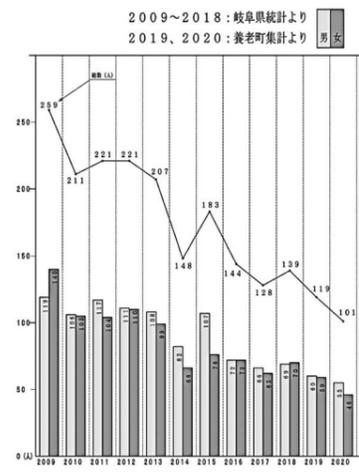
答 教育現場では、最高学年の「6年生マジック」が効かない。小・中の文化の違い・不登校やいじめ・教職員集団の複雑多忙化などが懸念される。等々から養老町での小中一貫校化はすべきではない。

問 小中一貫校や義務教育学校の議論の前に環境整備、情報提供、意見集約に努め未来ビジョンを描く学校の在り方を模索したい。

答 心配される児童生徒は、町内にもいる。コロナ禍が長期化する中、保護者と学校の信頼関係を構築し支援に努める。

問 社会福祉協議会は平成元年に設立され、拠点施設は老人福祉センターで、「福祉のまちづくり」の実現を目指して活動している。

答 令和5年度の新生が10名を下回る学校がある。3校あると予測しており、学校のあり方を検討するとは避けられない。



町内出生数推移



◆松永 民夫 議員

公共施設管理計画への対応は

町長 統合・再編・廃止等を検討

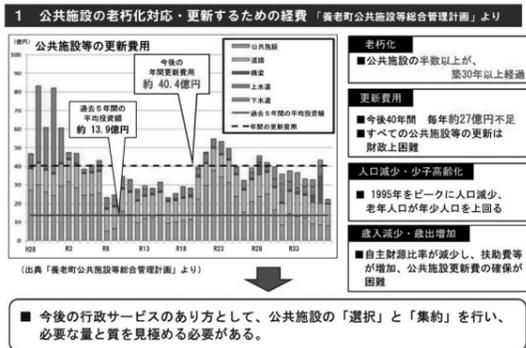
町内の公共施設の大半が築30年以上経過しており、老朽化対応・更新するための経費が今後40年間、毎年約27億円不足する。

問 公共施設の更新費用が本町の財政に与える影響は大きく、総務省より令和3年度中に公共施設等総合管理計画の見直しを求められている。本町の現状と課題は。

答 公共施設すべてについて、統合や再編、廃止等を検討している。養老町公共施設等総合管理計画は平成29年5月に策定しており、計画策定から5年目を迎えることから、総務省の通知を踏まえ令和3年度中に見直しを行う。

問 見直しにあたっての地方公会計（固定資産台帳）の活用と財源措置は。

答 「地方公会計の利活用」については、原価償却分として資金確保に有効と考えるが、財源の確保が厳しい。財源確保としては、中長期視点で基金等への積み立てを検討し、安定的財源確保に努める。



養老町公共施設等総合管理計画

社協との連携強化は

町長 組織力強化に協力していく

問 社会福祉協議会は福祉の現場を担って活動し、大半の事業が町の委託事業である。町職員との人事の交流を含め人材の確保は。また受託事業の財源の適正措置とは。

答 町と社会福祉協議会は地域福祉を推進するパートナーであり、これまで以上に組織力強化に協力していく。人事交流については昨年度から町職員を事務局長として派遣した。他の市町社会福祉協議会との人事交流も考えていく。新規事業の委託業務では人件費も考慮している。



社会福祉協議会が入る老人福祉センター

問 社会福祉協議会の拠点施設は老人福祉センターである。昭和57年施工後、大規模改修がされておらず老朽化対策は。

答 老人福祉センターの運営は、高田地区に立地する他の公共施設との統合も視野に、抜本的な見直しの中で議論を進めていく。トイレの改修は担当課に対応を指示した。

議会改革 特別委員会 農業委員会と 意見交換会 報告

令和3年4月6日
午前11時より
養老町役場4階大会議室にて開催

議会改革特別委員会では、町内の各団体の皆さんにご意見を伺う会を開催しています。

今回は、農業委員会の方にご参加いただきました。

1人または2人の議員が入った4、5人のグループで5班に分かれ、テーマに沿った意見を出し合う、ワークシヨップ形式で行いました。コロナ感染症が心配される中、時間を押して活発なご意見が相次ぎ、大変有意義な時間となりました。ご協力ありがとうございました。



A班テーマ 「農業委員会の現状と課題について」

- ・担い手への農地の集積、集約化については、少子高齢化が進んでおり、後継者や若手農業者不足が問題。
- ・基盤整備については、未整備の地域は、積極的に進め後世に残す。
- ・農業委員相互の議論の場が必要である。



B班テーマ 「議会への要望や評価について」

- ・パトロールに議会（議員）も参加し、汗を流してほしい。
- ・耕作放棄地復元の方法や手続きは、個人では対応できない。
- ・ルール作りや補助金の創設を検討してほしい。
- ・議会は、農地視察等しているのか。



C班テーマ 「コロナ禍での農業委員会不安や対策について」

- ・県や町の農業施策を迅速に農業委員会に提示されたい。
- ・長時間の会議が出来ないため、研修会などが行えない。

D班テーマ 「農業委員会を活性化するための取り組みについて」

- ・引き続き、町や議会との意見交換会を定期的に行い、要望を明確化させ実施すること。
- ・女性農業委員の登用を望む。

E班テーマ「その他」

- ・農地として守っていく部分と企業誘致のバランスが課題である。
- ・農業委員は、地区委員を経験し町の農業委員になるのが望ましい。
- ・農業委員が就業者を一人でも多く推進する。
- ・スーパーサンシの進捗状況。

多くの貴重なご意見が寄せられましたが、紙面の都合上割愛させていただきました。全てのご意見に寄り添い、関係機関と共に前に進めます。（委員長

議会改革特別委員会

- 委員長…水谷久美子
- 副委員長…田中敏弘
- 委員…早崎百合子
- 岩永義仁
- 小寺光信
- 清水由美子
- 長…吉田太郎
- 副議長…北倉義博
- (4月6日当時)

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 99

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和2年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 改良住宅の譲渡施策の進捗状況は

こうなりました

改良住宅の譲渡は円滑な推進を図るため町議会議員、学識経験者等で組織された「改良住宅特別委員会」内で審議を進めてきました。

令和元年11月に「養老町改良住宅譲渡基本方針」が策定され、令和元年度から令和8年度にかけて改良住宅の契約者に対しての有償譲渡が始まりました。

令和3年度においては482戸中、160戸が譲渡受付の開始を迎えており、現時点で1件の譲渡の手続きが完了しております。

契約者からの早期譲渡の要望が少なくないため、住宅や土地の測量等を早め、2年の前倒しによって令和6年度までにすべての住宅の譲渡開始ができる方法を現在検討しています。

問 燃やせるごみ収集日の改善は

こうなりました



燃やせるごみの収集は、町内を2つのブロックに分け、週2回行っています。しかしながら、収集日が祝日や年末年始に当たり収集できない場合があります。

令和3年度のごみカレンダーでは、町民のご意見も伺いながら、週2回の燃やせるごみ収集を確保するため、収集委託事業者及び受入先である養老ドリームパークと協議を行い、年4日の特別収集日の設定や月2回のプラスチック製容器包装収集日の内、1回を燃やせるごみの収集日に振り替えるなど、収集回数の均衡を図りました。

今後とも、分別収集によるごみの減量化と資源化への取り組みに、ご理解とご協力をお願いします。

令和3年度は下記のように特別収集日等を設けています。
養老・上多度・池辺・笠郷
5月3日、7月21日、9月20日、9月22日、12月30日
高田・広幡・小畑・多芸・日吉・室原
7月23日

議会に対しての意見

シリーズ 37

住民の声

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

(町内在住 Y・K)

最近気付いた事その1。

先日新聞に養老町民憲章の記事が出ていた。1973年に制定されたとか。48年前と言えば大学生の頃（やばい年がバレる）翌年オイルシヨックがあつて学生の就職氷河期がやってきた。高度成長直後の落ち込みだっただけに大変な思いだったと記憶しています。そして今、コロナ禍で就職に進学に難儀が付きまといまいます。

しかし、私たちと言えば65才以上のお年寄り。ワクチン接種も優先的。なんて優しい我が町養老。って気持ちその2。

激動の時代を生きてきた私達ですが、これからは養老のために愛の輪をさらに広げ力を合わせて未来に続く明るい町を子供や孫のために作ります。っていきなさいものです。

人生百年とか言われるこの現代社会、ジジババこれからまだまだ頑張ろうぜえ〜！

黄昏応援団